

「誰か聞こえる？」

ある村に古い神社がありました。ある日嵐が来て、その神社を押し流してしまいました。次の日、村の人たちは神社を探しましたが、見つかったのは大きな穴だけでした。村人たちはその穴をのぞき込みました。穴は深く、暗いものでした。

「ねえ？ 誰か聞こえる？」と誰かが穴の中に呼びかけました。

こだまはちっとも戻ってきませんでした。

ある男の子が穴の中に石を投げました。耳を傾けましたが、なんにも聞こえてきません。テレビで穴のことを知った人たちが、穴を見るために遠いところから村にやってきました。あるとき、お金持ちの男の人が村人たちに言いました。「村のために神社を建ててあげよう。その代わり、その穴を私にください。」村人は賛成しました。お金持ちの男の人は、その穴を新しいゴミ捨て場として売り込みました。

人々は、その男の人にお金を払ってごみを捨てました。テストや昔のラブレターなどたくさんのいろいろなものを。ごみは世界中から送られてきました。あらゆるごみを捨てていったのです。核廃棄物^{かくはいきぶつ}までありました。数年が過ぎましたが、穴はいっぱいにはなりません。人はごみの心配をする必要がなくなりました。海や空はきれいにそして美しくなっていました。

お金持ちの男は英雄となり、村は豊かな都会に変わりました。ある日、若い男の人が新しいビルの屋上で作業をしていると、空から声が聞こえました。

「ねえ？ 誰か聞こえる？」とその声は言いました。

若い男は見上げましたが、青い空しかありません。男はまた作業を始めました。その時、何かが空から落ちてきて、彼の近くの屋上に当たりました。彼は気づきませんでした。

それは、…

あの石だったのです！